

月山・蔵王山行記録

《日程》 2019年5月1日～2019年5月4日

《エリア》 東北山形

《形態》 雪山登山

《メンバー》 清岡 池田 関本 宮本

《報告》 宮本

《ルート／タイム》

5月1日

近鉄大久保（6：20）～大積PAにて昼食（12：10）～月山スキー場のやつなみロッジ（16：30）

5月2日

ロッジ出発（8：45）～蔵王刈田リフト乗り場（10：20/10：45）～馬の背～レストハウス（12：00/12：30）～刈田岳（12：40/12：55）～リフト乗り場（13：25）～ライザウッディーロッジ

5月3日

ロッジ出発（6：00）～やつなみロッジ（7：20）～月山ペアリフト上駅（8：35）～月山頂上（11：20/11：45）～やつなみロッジ（14：10/14：30）～長岡（19：00）

5月4日

長岡（7：00）～多賀SAにて昼食（12：00）～近鉄大久保（13：30）

《登山報告》

5月2日



昨日まで降っていた雨はやんだが風が強い。東北全体に強風注意報がでている。風が収まるのを待って宿にて待機するも、8時過ぎに今日のうちに歩行時間の短い蔵王に登ることに予定変更し、自動車で出発する。

77キロ走って蔵王刈田リフト乗り場の駐車場に到着。風は強いが晴れている。

動いていないリフトの横の雪渓を登り始める。雪渓の脇にフキノトウが出ている。稜線に登るとますます風が強くなりよろけながら全力ですすむ。御釜の氷が

半分解けてなんともいえない美しい色になっている。

視界はクリアで蔵王最高峰の熊野岳（1841m）も近くに見えるのだが暴風で登頂は断念する。



南側の刈田岳手前のレストハウスに避難し、展望を楽しみながら休憩所にて昼食。

このレストハウスは車で来ることができるので観光客があふれている。私たちが駐車した所あたりから車は渋滞していた。

すぐ近くの刈田岳（1758m）にピストンして下山する。

5月3日



ロッジを6時に出て前日の宿泊地にもどる。リフトが8時からなのでちょうど良い時間になる。このスキー場は4月から7月までオープンしているらしい。

リフトを降りて登山開始。風は収まっているがガスっている。アイゼンとピッケルの登山者より山スキーの人の方が多い。姥ヶ岳を巻いて牛首にいたるルートに行く。スキーヤー立ち入り禁止のポールが良い目印になるが視界が悪く一本ずつしか見えない。稜線で一度道を間違えて引き返す。

頂上に近づくと雪がない所や雪が凍っていたりするので緊張して歩く。風も吹いているが昨日に比べたらなんてことない。3時間弱で月山頂上へ（1984m）。神社や小屋はほとんど雪で埋もれている。

下り始めるとガスが晴れてきて月山の雄大な景色に皆大感動する。大雪原が広がっていた。

リフト東方のトラバースは長くてきついのでスキーの人がうらやましかった。



下山後、長岡までのドライブでは車窓を楽しめた。鳥海山が雪を抱いて浮かんでいる姿は神々しい。モクレン、スイセン、ユキヤナギ、菜の花などの関西では早春の花から桜、サクランボの花、ハナミズキなど春の花がいろいろ咲いている。東北には春が一度にやってくるようだ。